



こうほう

— 総代会、各本部全体会議特集 —



DENNET

デンネット“DENNET”は電気（Denki）工
事業で固く結ばれた協同集団（Network）
を意味して造られた組合の略称です。

第 149 号

令和2年（2020年）7月10日

石川県電気工事工業組合

— 表 紙 —

石川県金沢港大野からくり記念館

金沢市大野町に住み活躍した幕末の科学技術者・からくり師 大野弁吉 の業績を紹介するとともに、近代技術のあけぼのを代表する「からくり」の世界を様々に展示しています。その他に館内では、手に触れて体験できる「のぞきからくり」、「エレキテル」、柔軟な発想が試される立体パズル等もあり、子供から大人まで楽しめるスポットとなっております。建物の場所は金沢港の先端に位置しており、日本海を望むことができます。



目 次

石川県事業者向け支援制度について

新年度のご挨拶	1
第79期通常総代会	9
第58回優良従業員表彰	16
3本部、相次いで全体会議開催	18
電気使用安全月間行事	22
各本部だより	23
青年部だより	29
新規採用職員の紹介	29
組合事務局日誌	



新型コロナウイルス感染症で
影響を受ける

石川県の事業 みなさまへ

新た
(★)

事業継続・雇用継続に向けた、様々な支援

新型コロナウイルス感染症で影響を受ける

	主な要件	支援制度
給付金を受けたい	売上が前年同月比50%以上減少した企業 (資本金10億円以上の大企業を除く)	① 持続化給付金 国
	★ 国の持続化給付金を受けた事業者 6/30から	② 石川県経営持続支援金 県
	売上が前年同月比50%以上減少又は 連続する3カ月同期比30%以上減少の中小企業等	③ 家賃支援給付金 国
	★ 国の家賃支援給付金を受けた事業者	④ 石川県家賃支援給付金 県
	新型コロナウイルスの影響に伴い、最近1か月 (3月以前は10%)の売上が5%以上低下した企業で 休業手当を支払い従業員を一時的に休業 させた企業など	⑤ 雇用調整助成金 国
小学校等の休校により子供の世話をを行う労働者に対し 有給の休暇(労働基準法上の年次有給休暇を除く)を 与えた企業など	⑥ 小学校休業等対応助成金・ 支援金 国	

まずはこちらにご連絡ください

石川県事業者支援ワンストップ

E-mail : onestop@pref.ishikawa.lg.jp

開設時間

川県)

者の

な支援策
を追加!!



各支援制度等の情報は石川県ホームページで
随時更新していますのでご覧ください。

があります。

売上が減少
固定費等の負担を軽減したい

給付金を
受けたい

融資を
受けたい

税の猶予や専門家の
アドバイスを受けたい

厳しい状況を乗り越えるため
新しいことにチャレンジしたい

補助金を受けたい

事業者のみなさまへの支援制度(6月29日現在)

支援内容	担 当
○法人は200万円以内 個人事業者は100万円以内	中小企業庁 持続化給付金コールセンター 0120-115-570
○中小企業は50万円、個人事業主は20万円 (国の持続化給付金受給者へ給付)	石川県事業者支援 ワンストップコールセンター 076-225-1920
○申請時の直近の支払家賃(月額)をもとに、6か月分の家賃を支援 ・法人 支払家賃×2/3 ^(※1) ×6か月分=最大600万円(上限100万円/月) (※1)但し、支払家賃75万円/月を超える部分は1/3 ・個人事業主 支払家賃×2/3 ^(※2) ×6か月分=最大300万円(上限50万円/月) (※2)但し、支払家賃37.5万円/月を超える部分は1/3 ※制度の詳細については今後中小企業庁から発表予定	中小企業庁
○中小企業は最大150万円、個人事業主は最大75万円 (国の家賃支援給付金受給者へ給付) ※詳細は現在検討中	石川県事業者支援 ワンストップコールセンター 076-225-1920
○休業手当相当額に対して中小企業は4/5、大企業は2/3 解雇を行わなかった場合、中小企業は10/10、大企業は3/4(助成金上限額:15,000円/日・人)	石川労働局 職業対策課 076-265-4428 学校等休業助成金・支援金・ 雇用調整助成金コールセンター 0120-60-3999
○労働者を雇用する事業主:休暇中に支払った賃金相当額に対して10/10 (助成金上限額:15,000円/日/人 ※4/1以降に取得した分について) ○委託を受けて個人で仕事をする方: 就業できなかった日について:7,500円/日(定額)※4/1以降に取得した分について	学校等休業助成金・支援金・ 雇用調整助成金コールセンター 0120-60-3999

コールセンター

:9時~18時(土日も開設)

電話

076-225-1920

裏面も
ご覧ください

新型コロナウイルス感染症で影響を受ける

	主な要件	支援制度
融資を受けたい	最近2週間から1カ月の売上が前年同期比20%以上減少した 又はセーフティネット保証4号、5号 危機関連保証の認定を受ける中小企業等	⑦ 新型コロナウイルス感染症緊急特別融資 県
	最近1カ月の売上が 前年又は前々年同月比5%以上減少した 中小企業、小規模事業者	⑧ 新型コロナウイルス感染症特別貸付 国 ⑨ 新型コロナウイルス対策マル経融資(小規模事業者が対象) 国
税の猶予や専門家の アドバイスを受けたい	収入が前年同期に比べて概ね 20%以上減少している中小企業等	⑩ 国税・地方税の納税猶予、 社会保険料の納付猶予 国 県 市町
	収入が前年同期に比べて 30%以上減少している中小企業等	⑪ 固定資産税・都市計画税の 軽減措置 市町
	専門家に経営相談をしたい 中小企業等	⑫ アドバイザー派遣事業 県
	雇用調整助成金について相談がしたい	⑬ 雇用調整助成金個別相談会 県
補助金を受けたい	厳しい状況を乗り越えるため 新たな分野にチャレンジしたい中小企業等	⑭ 新分野チャレンジ 緊急支援費補助金 県
	感染拡大防止策を充実させたい 小規模事業者 ↓ ★ 7/1から 中堅・中小企業等に拡充	⑮ 感染拡大防止対策支援金 県
	★ コロナ時代に適応する3密防止・遠隔ビジネス等 の設備投資をしたい中小企業等	⑯ コロナ時代に適応する 設備導入支援事業費補助金 県
	★ コロナ時代の新たな需要をビジネスチャンスと したい事業者	⑰ 新たな需要を取り込む新技術・ 新製品開発支援事業費補助金 県
	テレワークを始めたい 事業者	⑱ テレワーク導入に 向けた専門家派遣 県 ⑲ テレワーク導入に かかる機器等の導入支援 国

まずはこちらにご連絡ください

石川県事業者支援ワンストップ

E-mail : onestop@pref.ishikawa.lg.jp

開設時間

事業者のみなさまへの支援制度(6月29日現在)

支援内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> ○融資限度額 8千万円 ○利子 1.00%(3千万円※)以内は当初3年間無利子 ○返済期間10年以内(元金の据置5年以内) <small>※危機関連保証利用時の据置5年以内は3千万円以内に限る</small> 	<p>石川県 商工労働部経営支援課 076-225-1522</p> <p>※★3千万円は4千万円に拡大予定(7/1より受付開始)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○融資限度額 中小企業3億円、小規模事業者6千万円 ○利子 中小企業1.11%(当初3年間0.21%) 小規模事業者1.36%(当初3年間0.46%) ○返済期間 15年(元金の据置5年以内) <small>※売上減少幅が一定水準を超える場合は当初3年間無利子</small> 	<p>日本政策金融公庫 金沢支店中小事業 076-231-4275 金沢支店国民事業 076-263-7192 小松支店国民事業 0761-21-9101 中小企業基盤整備機構 新型コロナウイルス感染症特別利子補給制度事務局 0570-060515</p> <p>※政府系金融機関には、この他にも様々な融資制度があります</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○融資限度額 1千万円 ○利子 1.21%(当初3年間0.31%) ○返済期間 7年(元金の据置3年以内) <small>※売上減少幅が一定水準を超える場合は当初3年間無利子</small> 	
<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年2月1日から令和3年1月31日までに納期限が到来する国税、地方税、社会保険料について、納税・納付が困難な方に限り申請により納税、納付が1年間猶予(担保不要・延滞金なし) 	<p>金沢国税局 税猶予相談センター 各年金事務所 県総合(県税)事務所 市町税務担当課</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○令和3年度課税の1年分に限り 売上減少が30%以上50%未満 課税標準を1/2に軽減 売上減少が50%以上 課税標準をゼロ 	<p>市町税務担当課</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○緊急経営支援アドバイザー(中小企業診断士等)の派遣(無料) 	<p>県内商工会議所・商工会・ISICO・中小企業団体中央会</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○社会保険労務士による個別相談(無料 要予約) 場所 ILAC、県内各地の商工会議所、商工会 	<p>最寄りの商工会議所、商工会又は石川県商工労働部労働企画課 076-225-1531</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○事業に要する経費の補助(人件費除く) (上限50万円、補助率4/5) 	<p>石川県事業者支援 ワンストップコールセンター 076-225-1920</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○感染防止対策に要する資機材購入等経費の補助 (上限20万円、補助率4/5、募集期間は~6/30) ↓ (上限50万円、補助率4/5、募集期間は7/1~) 	<p>石川県事業者支援 ワンストップコールセンター 076-225-1920</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○対象経費 設備導入費 等 ○補助額 上限600万円、補助率3/4 	<p>石川県商工労働部産業政策課 076-225-1513</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○新製品開発支援 上限200万円、補助率4/5 ○新技術開発支援 上限1千万円、補助率4/5 	<p>石川県商工労働部産業政策課 076-225-1513</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○専門家による テレワーク導入に向けた様々な助言(無料) 	<p>(一社)石川県情報システム工業会 076-267-4741 石川県商工労働部労働企画課 076-225-1531</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○働き方改革推進支援助成金(厚生労働省)最大300万円、補助率3/4※助成対象となる機器等には制限有 ○IT導入補助金(経済産業省)助成額30万円~450万円、補助率(特別枠)2/3※助成対象となる機器等には制限有 	<p>働き方改革推進支援助成金 0120-91-6479 (テレワーク相談センター) IT補助金(サービス専生産性向上IT導入支援事業コールセンター) 0570-666-424</p>

コールセンター

電話

076-225-1920

表面も
ご覧ください

:9時~18時(土日も開設)

補助金に関しましては締切等もありますので、担当課へのご確認をお願いいたします。



令和2年度の 熱中症予防行動

環境省
厚生労働省
令和2年5月

「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント

新型コロナウイルスの出現に伴い、感染防止の3つの基本である①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いや、「3密（密集、密接、密閉）」を避ける等の「新しい生活様式」が求められています。このような「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイントは以下のとおりです。

1 暑さを避けましょう

- ・エアコンを利用する等、部屋の温度を調整
- ・感染症予防のため、換気扇や窓開放によって換気を確保しつつ、エアコンの温度設定をこまめに調整
- ・暑い日や時間帯は無理をしない
- ・涼しい服装にする
- ・急に暑くなった日等は特に注意する



2 適宜マスクをはずしましょう



- ・気温・湿度の高い中でのマスク着用は要注意
- ・屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合には、マスクをはずす
- ・マスクを着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩を

3 こまめに水分補給しましょう



- ・のどが渇く前に水分補給
- ・1日あたり1.2リットルを目安に
- ・大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに

4 日頃から健康管理をしましょう



- ・日頃から体温測定、健康チェック
- ・体調が悪いと感じた時は、無理せず自宅で静養

5 暑さに備えた体作りをしましょう



- ・暑くなり始めの時期から適度に運動を
- ・水分補給は忘れずに、無理のない範囲で
- ・「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日30分程度

高齢者、子ども、障害者の方々は、熱中症になりやすいので十分に注意しましょう。3密（密集、密接、密閉）を避けつつ、周囲の方からも積極的な声かけをお願いします。



新型コロナウイルス感染症に関する情報：

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

熱中症に関する詳しい情報：<https://www.wbgt.env.go.jp/>



足元を固めるときです

理事長 米 沢 寛



新型コロナウイルスが流行しはじめて半年、その被害は世界中に広がり人々の日常生活はもとより社会全体に大きな影響を及ぼしています。近年、これほどの危害を及ぼしたものは皆無です。経済にも大きな影響を与えその収束は未だに見えません。

経済活動や学校が閉鎖され、最近はやや移動自粛が解除されましたが正常化されたとはいえ経済の先行は未だ不透明です。営業再開後の様子は厳しい状況にあり、特に夏の休暇シーズンを前に期待をかける観光業などは被害がさらに拡大しそうです。一旦、停止した経済活動は再び動き始めるまで相当の時間を要するでしょう。

今回のコロナ騒ぎは2008年のリーマンショック以降最大の経済危機といわれています。先行きを見通せない不透明な事態に立ち向かうのは初めての経験であり、世界で何が起きているのか、これから起きるのか予測が難しいのが現実です。いずれ「パンデミック」（感染症の世界的な大流行）は収束するのですが、その変化に注目しなければなりません。

一方ではあれほど期待した東京オリンピックが来年に延期されました。オリンピック景気の波及を期待しただけにコロナショックは何をもたらすのか、電気工事業界もコロナショックからどう立ち直るか真価が問われそうです。直接、電気工事業界に影響を及ぼすことは少ないでしょうが、景気の落ち込みは避けて通れないと思われます。日本経済はコロナによる影響が一年続いたとしてもそれほど心配ないでしょうが、これが2年3年と続くと新たなシナリオづくりが求められるでしょう。

世界を襲うコロナショックはいつ収束するのか、アフターコロナに備えて新たに生ずる改革に遅延することなく、我々も一丸となって取り組まなければなりません。今年度は「街の電気ドクター」として、品質の高い仕事ができる人材の育成・環境づくりに取り組むことを決議しました。特に社会の急激な変革が予想されます。時代が変革する中、組合員が一丸となって「素早い対応」「行動する」、動きの見える業界をめざしたいと思います。

厳しい環境ですがより一層のご支援、ご指導をお願いします。

新年度の抱負

副理事長兼
加南本部長
(配電担当)

今 出 真 稔



蝉がいち早く夏のおとずれを知らせて来る季節となりましたが、組合員の皆さま方には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。常日頃から電気工事組合の諸事業・活動・運営に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜り、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

昨年度に引き続き加南本部長および副理事長（配電担当）の任を仰せつかりました。微力ながら精一杯この任務を遂行してまいり所存でありますので、諸先輩方々はじめ組合員の皆さま方から尚一層のご指導ご鞭撻を頂戴いたしたくよろしくお願い申し上げます。

さて、昨今では新型コロナウイルス感染症拡大が大きな社会問題となり、景気への悪影響が現実化しております。コロナ禍の動向を注視することは当然必要ですが、経済への悪影響を認識したうえで耐え抜く覚悟も必要と思います。

また、東日本大震災後、国家が進めてきた「電力システム改革」は、平成28年4月の電力小売り全面自由化を経て、今年4月には発送電部門の法的分離が施行され北陸電力株式会社様は「北陸電力株式会社」と「北陸電力送配電株式会社」に分社化されましたことは、皆さまご存じのとおりであります。今後は小売電気料金規制撤廃により電力市場は完全自由化となることが決定されており、「電力シ

ステム改革」の総仕上げに向けて着実に進捗しております。託送部門である送配電会社の配電工事においては今後も安定した受注に期待しているところでもあります。配電工事施工者は安全作業や基本ルールを遵守し、更に施工力・効率化を向上させて最高の施工品質の確保を目標にして参りたいと思います。

一方では熟練技術者の多くが高齢化し併せて少子化による将来の人材不足により企業承継問題が大きくクローズアップされております。将来的に企業継続の困難度合いが増すことも予想され、組合員の減少・戦力の減退も懸念される所でありあります。雇用環境を整備し若年層の電気工事業界への就労支援を促進し業界の人材不足解消に対する対策に取り組む必要があります。

加南本部の倉庫増設工事は今年下期を目標とした計器取次店業務受託に向けて着実に進捗しており、計器の入出庫に関する利便性が向上することが期待されます。

そのような状況下ではありますが、皆さま方におかれましては、健康には十分留意され、ご壮健にて盛夏を乗り切られますよう心よりお祈り申し上げます。

最後に皆さま方のますますのご健勝とご繁栄をご祈念申し上げて、新年度のご挨拶とさせていただきます。

電気工事業の働き方改革

副理事長兼
能登本部長
(安全担当)

稲垣 健英



2020年の幕明けは中国で発生した新型コロナウイルスで世界中がパニックに陥りました。石川県は特定警戒都道府県に指定され毎日のように感染者が発生しました。この影響で能登本部の全体会議の開催も断念し書面審議に変更せざるを得ない状況でした。この新型コロナウイルスは年内には収束は出来ず最悪2～3年かかるかもしれません。未曾有の状況が景気の減退にしばらくは向かうと思われま

す。幸いにも当業界は新型コロナウイルスの影響は現在、最小限と思いますがこの先仕事が止まるかもと不安があります。政府が働き方改革を推進している今、私達業界も今こそ改革を行わないと時代に取り残される事になります。

働き方改革の3つの柱は『長時間労働の解消・非正規と正社員の格差是正・高齢者の就労促進』ですが私達の業界の抱える問題は若年者の参入です。ただでさえ高卒、大卒の業界への就職が不足している現状は

日曜・祝日の出勤、長時間の残業、長期の有給休暇が取りづらい等が原因の一つです。

これらを一つ一つ対策を取らないと若者の参入が増えることはないと思われま

す。日曜・祝日の出勤には振替の休日の付与残業しなくても良い計画性を持った施工体制これは新入社員だけでは無く現在働いている社員にも同じことが言えます。

まだまだ私たちの業界の改革について組合全体で考え、実行することが必要になります。

働き方改革の講習会等の計画を立て業界の更なる発展を目指したいと思われま

常務理事兼
金沢本部長
(ESCO事業担当)

柚 木 賢



盛夏の候、組合員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。今年、新型コロナウイルスが大変な猛威を振るい石川県においても感染者数299人死者数22人（6月18日時点）となっており大変なダメージをこうむっております。

本来であればゴールデンウィーク期間中は、金沢駅や兼六園、近江町など観光客で溢れ返っているはずなのに閑散とした状態でした。又21世紀美術館、東山茶屋街など、営業を自粛したところもありました。6月に入り非常事態宣言が解除されたとはいえ、すぐに回復するはずもなくその自粛ムードはしばらく続きそうです。飲食観光業界だけでなく輸出関連の鉄工、機械産業へのダメージも計り知れないものがあります。

わが組合に目を向けますと当初予定していた行事が次々と中止あるいは延期になっています。金沢本部の全体会議では、初めてのことだと思いますが、全体会議議案書を郵送し、それを確認していただき書面表決書をFAXで返信する方法をとりました。

他の本部でも同じように行われ県総代会でもそのような方法で行っております。又全日電工連では、11月に横浜アリーナで行う第4回技能競技大会の中止も5月に決定しております。

そのような状況が続く中、金沢本部としましては、6月上旬に組合員がどのように新型コロナウイルスの影響を受けているかのアンケートをとりました。6月18日時点でまだ集計の途中ですが112社からの回答を頂いております。先ず新型コロナの影響で貴社の仕事はどう変わったか質問したところ、仕事量が

減ったが33、着工が遅れたり工期が伸びたが48、その逆にあまり変わらないが25、でした。又今年後半から影響が心配と答えた方が56、と半数を占めております。次に貴社では、新型コロナ感染防止対策をどのように取り組んでいるかをお聞きするとマスク着用が112、消毒液の設置が101、体温の測定が71、対面による打ち合わせを避けるが40で各社対策をとっております。次に新型コロナ関連の助成金、給付金等の申請をしていますか、では持続化給付金の申請をしたが29、雇用調整助成金の申請をしたが7、特になにもしてないが70、と多く意外でした。持続化給付金は、申請も簡単で中小法人は200万円、個人事業者は100万円と金額も多く、又、石川県は、独自に法人なら50万円、個人事業主なら20万円の給付が受けられることになっています。アンケートでもそれらの講習を受けたい14、講習を受けたいが沢山の人が集まるので嫌だが15、と関心がある方もいらっしゃいますがこんな時期なので講習会等を開催することができません。先ずは、税理士会計士の方にお聞きするか、各地区の商工会にお尋ねになるといいと思います。又、4月1日より電力分社化に伴い電力申し込みのルールが厳格化されてきました。電柱使用申し込みに関わるトラブルが目につきます。先ずは早め早めの申し込みを心掛け電力各窓口または、各工事組合計器取次店に相談してください。宜しくお願いします。

最後になりますが、一日も早く新型コロナウイルスを封じ込め、日常の生活が戻るよう願っております。



常務理事(厚生担当)

鳥 畑 弘

盛夏の候 組合員の皆様方には、益々のご清祥のこととお慶び申し上げます。

第79期通常総代会も無事終わり、いよいよ令和2年度のスタートとなりました。昨年度は例年実施している健康診断も1,720名の方が受診されました。今年も各本部で実施しますので全員受診されますようお願いいたします。

また、第三者損害賠償制度の募集では、347件(加入率81%)、業務災害補償制度が152件(加入率35%)、組立保険37件(加入率8%)でした。特に組立保険が低調です。加入費も割安で補償内容も充実していますので、是非ご一考をお願いいたします。

また今年度よりインフルエンザの予防接種の費用を、組合共済会より支払いすることになりました。

さて、毎日の心がけとして健康な体でいること、そして仕事のやりっ放しは禁物です。その結果を報告して初めて完結するもので、それは仕事における「後始末」ともいえることだと思います。依頼されたことを正確に実行することはもちろんのこと、そのとどめは復命を行うことにあるものだと思ひ、日々の仕事を円滑迅速に遂行していきたいものであります。仕事における後始末の徹底が新たな仕事にもつながっていくものだと思います。

最後になりましたが組合員の皆様方、ご家族の皆様方のご多幸をご祈念致しますと共に組合へのご支援ご協力をお願い申し上げます。



常務理事(総務担当)

由 雄 一 彦

昨年度の改選以来早いもので、1年が過ぎてしまいました。

昨年は全日本電気工事業組合連合会主幹による創立60周年記念第33回電気工事業全国大会が当地金沢市内で開催され、全国から組合員、青年部員など2千人近い大勢の参加者が集結。電気工事業の進むべき指針を確認し、次の70周年に向けて更に飛躍する組織作りを目指す有意義な大会となりました。

我々開催県の組合として、台風19号の被害で北陸新幹線が不通となったなか開催が危ぶまれましたが、お陰様で成功裡に終えることができ胸をなでおろす事が出来ました。大会では組合員の皆様には大変なご協力を頂き深く感謝を申し上げたいと思います。

さて、今年になり3月以降新型コロナウイルスの感染が国内でも拡大し、世界中に広がりが見られます。今まで経験をしたことのない規制を受けることになり、世の中の多くの活動が止まってしまいました。今後どうなっていくのか不安でしたが、国内では感染者が横ばい状態となり規制が一部緩和されました。今後は一日も早く終息を迎えてほしいものだと願っております。

今後の組合のことですが、総務委員会では、長年の懸案だった組合加入の際の加入金値下げの件で昨年の総代会において承認され、幾分加入しやすくなったのではないかと考えております。

又、組合の方向性や問題点については従来も行っていましたが、企画委員会と合同で委員会を開催し意見交換をしていきたいと考えています。経理の問題で、総務委員会では出金伝票の確認を行っていますが、県本部で3本部の経理処理を行うための伝票を統一のものにできないか、検討していきたいと考えています。

最後に、皆様方の益々のご繁栄を祈念すると共に、今まで同様のご支援ご協力をお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。



常務理事(企画担当)

竹内 和良

梅雨明けの暑さがいっそう身にこたえるこの頃です。

組合員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年の第79期通常総代会は新型コロナウイルス感染症拡大防止を図る為に今迄にない開催方法で行われました。各本部からの参加人数を減らし、規模を縮小して参加されない総代の方々には組合県事務所より総代会議案書と書面議決書を発送して書面議決書での参加をお願いしました。

コロナウイルスに対処する為に世界中で都市封鎖や自宅待機等の措置が取られ経済活動が停止しました。日本でも緊急事態宣言が政府より出され基本的な感染予防の実施や不要不急の外出の自粛、密閉、密集、密接を避けるなど、各種施設が休館し野球、サッカー、各種イベントも中止になり、日本中が経済活動を停止しました。

また、予防措置としてのマスクの不足やテレビや新聞では新規感染者数や重症者数、死亡者数を伝え、大学教授やお医者さんの情報、ソーシャルディスタンスやクラスター等難しいカタカナの用語が毎日のように報道されて大変に不安になりました。

今、緊急事態宣言も解除されて世の中が少し落ち着いてきましたが、第2波、第3波に備えて買い物、娯楽、スポーツ、食事、公共交通機関の利用、各種行事の参加等において新しい生活様式に慣れるよう意識して過ごして行かなければいけないと思います。

そして、この未曾有の経験を生かして経済活動も色々な生産を外国に頼るのではなく、必要最低限は国内の企業が生産を行ってサプライチェーンの見直しを図って行くチャンスにしなければいけないと思います。今後、日本の経済が右肩下がりの状態に暫くなって行くのだと思いますから、我々組合員も気を引き締めてアンテナを高く上げて世の中の動向に対処して行かなければいけないのだと思います。

その為に組合が出来る事を早く対処出来る様に、組合員皆様の要望やご意見を多く頂いてそれを色々な施策に反映、実施してく様に努力して行きたいと思っています。



常務理事(電設担当)

米澤 直明

盛夏の候、皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

先般の第79期通常総代会におきましては、令和元年度事業報告並びに財務諸表承認の件・令和2年度事業計画案並びに予算案承認の件その他案件につきまして速やかに審議されました。今回の総代会は昨今のコロナ禍の中での開催でありますので、少人数で出席者の間隔を配慮していただきましたことは深く感謝申し上げます。

新年初頭はオリンピックの国内開催など賑やかな年になるだろうと気持ちを新たに臨んだのですが、2月あたりから新型コロナの感染者が増え始め、3月からは自粛ムードの高まりをうけ、各種行事・会合が軒並み中止となりました。これにより国内のサービス業など特定業種が大きなダメージを受けさらに海外諸国の感染拡大による経済活動縮小によりわが国の製造業をはじめ多くの業種で大きな減速を余儀なくされているのは周知の事実です。私たち電気工事業においては一部の建設現場の施工一時停止により少なからず影響は有りましたが、年度当初の端境期？ということもあって、平年並みの落ち着きを取り戻しているように思われます。ただ、今後の動きによっては全く予断を許さない状況が続くと感じます。

6月末現在、感染のリスクはかなり少なくなってきましたが、高温多湿の時期を迎え熱中症のリスクを考慮しなければならない時節になりました。皆様方におかれましては、どうかメリハリのある感染対策と熱中症対策をもって今夏をご安全に過ごされることを願って止みません。



常務理事(広報担当)

上 村 和 弥

盛夏の候、組合員の皆様におかれましてはお元
気でお過ごしのことと存じます。

引き続き広報委員会を担当させていただきます
上村です。

今回のコロナ禍の中、組合員の皆様におかれま
しては、事業活動において様々な困難な場面に直
面されていることと思います。

組合広報も第149号を迎え、これまでと全く違
う一年の様相のなか発刊することとなりました。

一昨年度からバックナンバーのアーカイブ化を
進めWEB上での利便性を高めてまいりましたが、
今回は組合員が直接利用できるコロナ支援策の情
報といった身近なものにも取り組みました。広く
浅く過ぎるといったご指摘もあるかもしれませんが、
ご容赦いただきたいと思ひます。

また電力システム改革のなかで電力会社の発送
電分離による北陸電力送配電株式会社がスタート
し、「働き方改革」についても今回のコロナ禍に
より我々の事業活動を結果的として対応し、変化
せざるをえない部分もありましたが、何よりも我々
の業界がインフラ整備の担い手であり、エネルギー
の供給の末端を担うエッセンシャル・ワーカーと
しての認識を新たにしたいと思ひます。

「こうほう」も県広報として総代会情報等、伝
えるべき情報を第一にという広報の使命により、
まじめで実直な紙面にならざるをえない部分があ
ります。

そうした中でも役に立つ情報も取り入れながら
組合員の方々に末永く保存されるような組合「こ
うほう」づくりを目指してまいりますので、今後
とも「こうほう」に対する御意見、要望また御協
力をお願いいたします。



常務理事(電力部長)

田 中 学

いよいよ夏の到来を迎え、組合員の皆様には益々
ご健勝のこととお慶び申し上げます。

早いもので、新年度がスタートし3カ月が過ぎ
ました。この間、新型コロナウイルスの感染拡大
に伴い緊急事態宣言が出され、外出自粛や経済活
動の停滞など社会活動に大きな影響を及ぼしてい
ます。

これまで当たり前であったことが、突然そうで
なくなり、「普通の」「平凡な」毎日の有難さを改
めて感じさせられます。早く元通りの生活が戻る
ように願っておりますが、コロナが終息しても
「働き方」や「暮らし方」は変わらざるを得ない
と言われております。

今後、仕事においては、通勤、出張に代わりテ
レワーク、web会議が多くなり、人と話する
際はマスク着用が当たり前になります。このよう
な変化に対応していくことが、より一層求められ
ることになります。

一方で北陸電力送配電殿からの委託工事におい
ては、コロナ禍により電気の申込み工事に影響は
出ているものの、電柱更新などの高経年化対策工
事は計画通り進められています。世界規模で経済
活動が停滞している中で「普通に仕事ができる」
ことを非常に有難いことと思っております。

当組合においては、今年に入り重大災害やヒュー
マンエラー停電が発生し、不良工事が多発してい
ます。

北陸電力送配電殿から仕事をいただいているこ
とに感謝し、災害ゼロで質の高い施工で期待にお
応えすることが組合に課せられた使命であることを
改めて認識し、諸施策に真摯に取り組んでいき
たいと思ひます。



県青年部長

森川 昌志

組合員の皆様におかれましては、益々ご健勝、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

日頃より青年部の各種事業活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、今年に入り全世界で猛威を振るうコロナウイルスの影響を受け、他の社会活動と同様に青年部の活動も延期や中止を余儀なくされました。参加する組合員の皆様の安全を第一に考えた末の決断です。準備をしていただいていた親会・青年部の皆様の悔しい思いは言うに及ばず、自分も残念な気持ちです。

毎年の恒例行事でもあります「エレキスクール」と「高校生との意見交換会」につきましては、開催時期と方法を現在模索中です。

自分達も初めての経験ですが、将来に不安を抱いている学生達になにかできないかと思っています。こんな時だからこそ日頃の青年部のつながりを発揮する時だと思います。リスクを機会と捉え、想定外の物事にも柔軟に対応、工夫することを学生達に伝えられればと考えています。

新生活様式やソーシャルディスタンス等の新たなルールを取り入れて、新しいアイデアで今後の青年部活動に取り組んでいきたいと思っています。

今後共、変わらぬご指導、ご鞭撻の程宜しくお願いします。



第79期 通常総代会

去る6月2日(火)当組合会館において、第79期通常総代会が開催されました。

今回は、新型コロナウイルス感染症の発生状況を踏まえ、総代会のみ(懇親会は中止)規模を縮小しての開催となりました。

当日は、総代63名(内、書面29名)出席のもと、議案が審議され、原案通り承認された。

- 令和元年度事業報告並びに財務諸表承認の件
 - 共済会規約一部改正の件
 - 令和2年度事業計画案並びに予算案承認の件
 - 役員報酬決定の件
 - 組合加入金決定の件
 - 組合借入金残高最高限度額決定の件
 - 1組合員に対する貸付金最高限度額決定の件
- 総代会議長に加南本部の竹田大輔氏が選出され、議案審議が行われた。

始めに米沢理事長からご挨拶の後、令和元年度事業の概況報告が説明された。

概況報告

組合員の皆様には、日頃当組合の事業推進にあたり、格別のご支援、ご協力をいただき、心から厚く御礼申し上げます。

ここ数年、毎年のように自然災害に見舞われ、全国各地で大きな被害が発生しています。昨年も台風による屋根被害や停電、想像を超える豪雨による河川の氾濫等が記憶に残っています。北陸新幹線も豪雨の影響から開通5年目にしてはじめて全線不通という事態に見舞われました。また、年号が「平成」から「令和」に代わった時代の大きな節目となった年でもありました。

この節目の年に「全日電工連創立60周年記念第33回電気工事業全国大会」が10月16日と17日、当地金沢市で開催されました。北陸では13年ぶり、



石川では22年ぶりとなる本大会は、全国から大勢の組合員、青年部員が集結し、16日は青年部が主体となり業界を取り巻く諸問題の解決を図るべく意見交換会を、17日は全国各地の事業を周知する組合活性化研修会と大会式典及び交流会を開催しました。メインテーマに「輝く明日へ 社会を照らす使命のリレーを、今ここから」、サブテーマに「知ろう、語ろう、伝えよう、電気工事の魅力と誇り」を掲げ、電気工事業の進むべき指針を確認し、組合員の道を拓く機会として、情報共有と次の70周年に向けて更なる飛躍する組織づくりを目指す有意義な大会となりました。

組合員の皆様には、改めまして感謝申し上げます。

当組合では、4月に石川県と「災害時における応急対策活動業務」に関する協定の締結を行い、これにより石川県内すべての自治体との締結が完了しました。5月、加南本部の倉庫増築工事に係る土地を取得し、11月には工事請負契約を締結しました。完成は今年8月を予定しています。11月から1月にかけて業界理解促進交流事業を県内4校(石川県立工業高校、金沢市立工業高校、羽咋工業高校、小松工業高校)で実施しました。将来の人材確保対策として、今後もこの事業を継続することにより地域社会との交流を深め、業界の存在感の向上に努めたいと考えます。

電気を安心・安全にお届けすることが我々の使命であります。我々を取り巻く環境が厳しいことには変わりはなく大きな変革に直面しています。新たに生ずる課題や改革に遅延することなく、組合員が一丸となって「街の電気ドクター」として、共に考え行動することで地域に貢献し信頼される組合を目指したいと考えます。

尚一層のご支援ご指導をお願い申し上げます。



令和元年度 事業概要

○組合員 新加入者3名、脱退者6名、
期末において431名。

○出資総額 181,020千円、加入積立金184,959
千円、合計365,979千円。

○電力受注工事 令和元年度配電工事発注工量
計画の100.8%、前年度対比で99.0%の竣工実
績となりました。工費は2,656.1百万円、副資
材費653.1百万円、工事費合計では3,309.2百万
円の竣工額。

○一般用電気工作物調査業務 竣工調査におい
て受託件数7,603件（前年度対比72.1%）、受託
手数料22,783千円、並びに定期調査において受
託件数53,494件（前年度対比103.6%）、受託手
数料51,717千円、調査業務として74,500千円の
実績となりました。

本部分名	実施件数		受託手数料（千円）	
	竣工調査	定期調査	竣工調査	定期調査
金 沢	4,512	34,590	14,436	33,948
加 南	3,091	18,904	8,347	17,769
合 計	7,603	53,494	22,783	51,717

○配電工事施工品質評価実績 (単位：件)

評価分類	評価項目	H30	R1
取引停止 措 置	取 引 停 止		
	厳 重 注 意		
事故発生	災 害 (不 休)		
	停 電 ・ 漏 油		
安全パト ロ ー ル	重 大 な 指 摘	1	1
	軽 易 な 指 摘	1	1
竣工検査	不 良 工 事		1
	注 意 工 事		
苦 情	苦 情 発 生	2	2
合 計		4	5

○自主安全管理活動 安全管理は、「基本ルー
ルの遵守徹底」を最重点実施項目として位置付
け、諸施策に取り組んできましたが、配電委託
工事において4件の労働災害が発生しました。

うち1件は低圧ゴム手袋を着用せず低圧充電
作業を実施し短絡アークにより火傷を負う災害
であり、また、もう1件は無墜落安全帯を使用
せず屋根上から墜落した災害でした。いずれも
基本ルールを無視したために発生した災害であ
り、特に墜落災害については過去にも数件発生
しており、再発防止に向けて重点的に取り組む
必要があります。

今年度も引き続き、「基本ルールの遵守徹底」
を最重点実施項目として位置付け、管理監督者
には「安定した足場の確保」、「墜落防止措置の
確実な実施」、「声かけ確認」など安全最優先の
原点に立ち返り、基本ルールや再発防止策の定
着に向けた取り組みをお願いします。

自主安全パトロールでは、令和元年度の重大
指摘事項は前年と同水準の24件の発生がありま
した。外線では18件の指摘があり、その中でも
班長の指示・監視不足が6件と突出しています。

また、班長に係る事項として重大指摘ではあ
りませんが班長腕章未着用も散見されています。
引込線では6件中5件が充電工事でのゴム手未
着用と充電部防護不足となっています。班長と
しての役割が年々重要視されてきている中で班
長業務が疎かになっていることは指摘に対して
の慣れ・甘えの表れではないかと危惧されます。

現場を管理する班長は、与えられた責務を災
害防止と品質向上に重点を置き、指摘の抑制に
努めることをお願いします。

パトロール出勤回数は安全指導員が低調であ
り、引込線にいたっては「0」件となっています。
パトロールは指摘が目的ではなく安全に高
品質な成果物を納品するものと考えを改め、現
場での指導に積極的にかかわる必要があります。

外線工事施工品質評価件数は、前年度の4件

から5件と増加しました。うち1件は低圧発電機車の取付工事で運転モードを確認せず作業を進めた結果、縁開放時にお客さまを停電させる重大事案でした。また、変圧器2次側の結線誤りで2件の不点苦情事案が発生しました。いずれも作業手順や工事後の確認を怠ったことに起因しており、班長は班員任せにせず自ら確認を行うこと、班長・班員間の復唱復命の徹底により施工品質の維持・向上に努めてください。

○保守管理業務 保守管理業務についての、業務受託契約件数は期首609件、期中に新規締結が1件、失効が24件、期末においては586件となりました。

契約件数の内訳は官庁関係439件、民間147件であります。本業務はエンドユーザーとの信頼関係の中、メンテナンス分野を通して永続的な技術営業拡大につながるのと観点から、特に官公庁関係を主体に陳情を重ねてまいりましたが、近年は建物改修等により、一般用電気工作物から自家用電気工作物に変更されることから、残念ながら一段と厳しい状況で推移しました。

○教育・資格取得講習 令和元年度、第一種電気工事士定期講習の実施は、5回（金沢3回、能登2回）開催し501名の方が受講されました。2月に開催を予定していた講習は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け開催が延期されています。定期講習は、電気保安の確保ならびに施工品質の向上、さらには電気工事士の資質の向上を図るために必要不可欠な講習であります。

当組合では、「一般財団法人電気工事技術講習センター」への「登録」を全組合員にお願いしています。まだ登録されていない工事士の皆様には、是非とも「一般財団法人電気工事技術講習センター」への「登録」をお願い致します。

○電気工事士免状発行等業務 電気工事士免状発行等業務は、第一種電気工事士免状の新規交付が140件、第二種電気工事士免状の新規交付が720件と書換え6件、再交付67件、合計933件

（前年度対比101.9%）となり、受託手数料3,105千円（前年度対比102.1%）の実績となりました。

本事業は全国各工組において、取り組みが進められています。我々電気工事工業組合が受託することで行政機関ならびに社会からの我々の存在価値高揚につながるという信念に基づき取り組んでいます。

令和2年度も当組合での受託が決定しております。引き続きこの事業を継続することにより、組合の存在意義を大きくアピールしていきます。

○金沢市LED防犯灯ESCO事業 金沢市LED防犯灯ESCO事業は、10年間にわたる維持管理業務の2年が終了しました。令和元年度は、金沢市からの新規取り付依頼灯数204灯に対応しました。（新設180灯、ポール設置24灯）また、修理依頼による出動回数は411回に上り、主な修理内容では、点滅器交換280件、ヒューズ切111件、灯具交換43件、その他向き替えやチラつきなど45件に迅速に対応しました。その他、所有者不明の幽霊街灯17灯を町会と協議し本事業に追加したほか、撤去・廃止で33灯を処理しました。

現状では、毎日、町会から問合せや修理依頼があります。また、本事業以外の街灯の問合せも多数寄せられています。安全で安心な街づくり推進に心掛け取り組んでいます。

○電気使用安全月間 令和元年度も8月に電気使用安全月間運動が実施され、組合役員及び青年部を中心とした電気設備の点検、仮設建築工事現場40ヶ所（金沢・加南本部管内）、重要文化財1ヶ所（加南本部管内）、街路灯の清掃点検奉仕作業223ヶ所（金沢市、白山市、かほく市）、非常用井戸ポンプの点検33ヶ所、エレキスクール（金沢・能登・加南本部で開催82名参加）の開催及び各地域でのイベントや祭りの協賛で街頭宣伝や移動サービス相談所の開設など、電気使用安全月間PRを積極的に展開して参りました。

○**広報活動** 広報活動と致しましては、組合「こうほう」誌を年3回発行し、組合員各位、及び防災協定を締結している全市・町に配布致しました。

また、テレビCMについては、昨年に引き続き「電気のフラメンコ篇」、「石川電気安全サービス“電気設備は大切な財産です”」という二つのタイトルでテレビ金沢のフリースポットで放映いたしております。是非ご視聴されますようお願い致します。

○**材料供給事業** 材料供給事業については、本年度579,542千円（副資材569,186千円、内線6,856千円、一般3,500千円）の販売促進を図りました。資材供給事業にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今後も組合員の経営安定と省力化に資するとともに事業を推進して参ります。

○**事業資金の貸付** 事業資金の貸付については、諸般の金利水準等の情勢を考慮し貸付金利率を前渡金3.5%で運用し、その他の貸付については4.0%で運用しました。年度中に総額25,300千円の貸付を行いました。

○**福利厚生** 福利厚生については、年度中に組合員2名の方が他界されました。心から哀悼の意を表します。また、例年実施しております健康診断も1,720名の方が受診されました。令和2年度も各本部で実施する予定でありますので、全員の受診をお勧め致します。

第三者賠償制度については、加入者354社、加入保険料26,073千円に対し、事故発生が7件（内線）、補償費7,920千円の給付を受けました。

また、組立保険制度は、加入者37社とまだまだ低調です。組合員の不測の事態に備え、工事の対象物に関し突発的な事故で損害が発生した場合、その復旧に要する費用を補償する保険です。スケールメリットを活かした加入費で充実した補償内容となっていますので、是非、ご一考下さい。

○**全日電工連グループ共済制度** 全日電工連グループ共済制度については、現在加入組合員236社、加入員1,353名、361,000万円の契約をしております。年度中には、障害1件、入院4件1,212千円の給付を受けました。不慮の備えのために多数の加入をお勧め致します。

○**北陸電力持株会** 北陸電力持株会は昭和51年4月に発足以来、組合員各位のご理解のもとで令和2年3月末会員は69名、株式数610,882株を所有しております。

北陸電力との関係を一層密にし、協力体制を確立するために、また、株式の取得を容易にできることから資産形成にも役立っております。更に多くの組合員が加入されるようお願い申し上げます。

○**青年部** 青年部は、各世代に応じたアプローチで次世代の育成に力を入れています。小学生を対象に「エレキスクール」を電気使用安全月間の活動として実施し、電気の正しい使い方や工作を通じた電気工事の楽しさを伝えました。高校生には、電気工事技術者の不足、特に後継者・若手人材の不足等を少しでも解消する目的として県下の電気系高校4校で交流事業を実施し業界のPR活動をしました。電気工事業界への理解を深めて親近感を持っていただくことで、今後の入職促進に繋がるものとして確信しています。

また、昨年10月に行われた第33回電気工事業全国大会では、準備段階から参画し「意見交換会」の担当として、富山県工組・福井県工組の青年部とともに連携を取りながら、運営に携わりました。

年度末近くには、新型コロナウイルスの影響から活動の縮小を余儀なくされましたが、今後も組合の推進力だけではなく、業界全体の推進力となるべく活動に積極的に取り組み、全日電工連全国青年部協議会、北陸電工連青年部連絡協議会、石川県中小企業青年中央会など関係団体とも連携を深め、更なる飛躍と発展を期待し支援していく考えであります。

令和元年度事業報告書

組合員事項

期首 434名 新加入者 3名 脱退者 6名 期末 431名

〔新加入者名〕

No.	事業所名	代表者名	所在地	本部	支部
872	ひ さ で ん	久田 友宏	鹿島郡中能登町新庄17-16	能登	七尾
873	(株) ヤ マ ヤ	片岡 浩和	金沢市玉鉾2-326	金沢	犀川西
874	(株) ト ヨ デ ン	林 豊和	小松市本江町イ92	加南	小松

〔脱退者名〕

事業所名	代表者名	本部	支部
白 山 電 業 社	石 野 清 志	金 沢	兼 六
北 光 電 機 (株)	北 久 子	金 沢	犀 川 東
西 電 気 商 会	西 潤 市	金 沢	河 北
笠 原 家 庭 電 器 店	笠 原 廣 三	能 登	羽 咋
(株) 中 板 電 機 商 会	中 板 富 子	能 登	珠 洲
(株) 成 宏 電 機	夏 梅 大 輔	加 南	小 松

令和2年度事業計画

我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続き、企業収益が高水準で推移するなど、緩やかな回復が続いていますが、中国経済をはじめとした海外経済の動向には十分注意する必要があります。また、一方で新型コロナウイルスの感染拡大による国民生活や経済活動等への悪影響が懸念され景気回復の長期化や少子高齢化に伴う労働人口の減少など、企業経営にとって今後の大きな課題となっています。

さて、昨年は「基本ルールの遵守徹底による労働災害撲滅」を最重点実施項目と位置付け、諸施策に取り組んできました。然しながら、配電委託工事で4件、内線工事で3件の労働災害が発生しました。内3件は高所からの墜落災害であり、毎年のように発生しています。

今年度も引き続き、「基本ルールの遵守徹底による労働災害撲滅」を最重点実施項目とし、墜落災害を撲滅すべく再発防止策を徹底して進めて参ります。また、過去に発生した同種災害の再発防止策の周知徹底がなされていない実態が判明しており、全従業員に周知徹底するための施策にも取り組んでいきます。

内線工事関係については、「安全・安心」「環境」「創エネ・省エネ」など時代のニーズに素早く対応し、お客様から信頼され地域に貢献する「街の電気ドクター」として、品質の高い仕事ができる人材の育成・環境づくりに取り組んでいきます。

配電委託工事においては、高経年設備の更新により工事量は増加していく予定であり、施工力の強化・効率化が急務となっています。このため、人材の確保、若年者の早期育成など施工力の強化に資する施策に継続して取り組んでいきます。

近年、後継者不足から事業を廃業せざるを得ないケースが目立ってきています。将来の人材確保対策として取り組みを行っている「業界理解促進交流事業：高校生との意見交換会」を引き続き実施し、電気工事業界の実態や魅力を発信していきます。

電気工事業界にとっては、ライフラインの確保、安全に安心して送電するという日頃の使命を維持することは、今も昔も重要な毎日の課題です。我々は電気のプロとして、従来にも増して知見を広めるとともに技術の向上が必要であり、社会が変革するなか組合員一丸となって、「素早い対応」と「行動する」、動きの見える業界をめざしたいと考えています。

組合員の皆様方の尚一層のご支援ご指導をお願い申し上げます。

重点目標

1. 基本ルールの遵守徹底による労働災害撲滅

- (1) 外線・引込線工事は、高所作業車が使用できない現場での梯子・脚立の使用を禁止し工事方法について電力と協議する
- (2) 内線工事における高所作業でやむを得ず梯子作業を実施する場合は、確実に梯子を固定する
- (3) 労働災害などのトラブル情報を従業員に確実に周知するため、事業主は周知報告書により全従業員が理解したことを確認し、専用ファイルに保管する

2. 施工品質の向上

- (1) 班長の目視による手順や工事後の確認と復唱復命の徹底
- (2) 外線の無停電工事、直接・間接活線工事における双方向無線機の使用徹底
- (3) トラブル事例に基づく職場討議の定例実施
- (4) お客さま工事不良通知施工者に対する再発防止教育の実施

3. 施工力の強化

- (1) 働き方改革への対応、処遇改善による若年者のモチベーション向上と離職防止
- (2) 若年者への積極的な声かけと技術指導
- (3) 電気工事業界への理解促進活動（高校生との意見交換会等）
- (4) 新入社員教育および若年者教育の実施

4. 法令遵守と風通しの良い職場環境づくり

- (1) 日常の声掛け、職場懇談会などコミュニケーションの活性化に資する活動の実践
- (2) 事業主からの訓示等による従業員への行動規範の徹底
- (3) フルハーネス化、伐採作業従事者の特別教育など労働安全衛生法改正への適切な対応

5. 新技術の習得・営業窓口分野の拡大

- (1) 創エネ・省エネ電化機器(200V 機器)の販売促進
- (2) LED照明機器及び家庭用エネルギー管理システム（HEMS）の普及促進
- (3) eドクター制度への迅速な対応

6. 組合運営の活性化

- (1) 員外施工者への組合加入の促進
- (2) 青年部活動への支援と連携強化
- (3) 各種諸行事への積極的参加（石川県電気安全協力会・内線工事研究会等）

7. 正しい原子力知識の啓発と原子力発電への理解

- (1) 「北陸地区電気エネルギーを考える会」の支援
- (2) 電力会社並びに関係官公庁諸団体との連携、一層の緊密化

第58回 優良従業員表彰

84名を表彰

令和2年6月2日(火)、第58回優良従業員表彰式の開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染が広がっている状況を踏まえ、受賞者の皆様やご来賓並びに関係者の安全・安心を最優先し、式典は中止と致しました。また、石川県知事賞については次年度に再度申請することとし、石川県中小企業団体中央会会長賞・石川県電気工事工業組合理事長賞については受賞者の皆様へ表彰状ならびに副賞を贈呈させていただきました。

石川県中小企業団体中央会会長表彰 (勤続30年表彰) を受賞して



米沢電気工事㈱

亀田 篤

この度、石川県中小企業団体中央会会長表彰勤続30年を

賜り厚く御礼申し上げます。

私は、工業大学を卒業後に入社し、建築付帯電気設備工事、通信工事等の工事に携わってきましたが、当時は右も左もわからない中、上司や諸先輩方のご指導のおかげで30年間続けてこれました。改めまして感謝いたします。

電気業界は今、大きな変革の時を迎えています。電力の安心・安全・安定した供給は昔も今もこれからも変わらず求められています。

また、施工品質の向上・災害時の緊急対応などまだまだ必要とされる業界と思います。

これらを見据え、今後も人材の育成・技術の向上に努め会社や電気業界の更なる発展の為、微力ではございますが努力する所存です。

これからもご指導下さいますようお願い申し上げます。

◆石川県中小企業団体中央会会長賞

□勤続30年表彰 (7名)

○金沢本部 (6名)

亀田 篤 (米沢電気工事㈱)
本田 真 (")
若林 直樹 (")
高畑 広昭 (㈲さかでん)
江川 正紀 (宮島電興㈱)
紺谷 哲治 (㈱明生電気商会)

○能登本部 (1名)

四蔵 孝 (桜井電気工事㈱)

◆石川県電気工事工業組合理事長賞

□勤続20年表彰 (31名)

○金沢本部 (21名)

鈴木 由佳 (米沢電気工事㈱)
磯端 鉄平 (")
古川 貴之 (")
中村 知弘 (")
高橋 純 (")
佐久間 里葉 (")
堀 栄治 (第一電機工業㈱)
嶋 直樹 (")
松田 昌和 (")
高橋 衛 (")
高畑 真人 (")
北村 哲也 (")
中山 真潮 (㈲ヤマックス)
川上 憲一 (㈱大地電業所)

堺 豊 博 (ツボ電気工事株)
 澤 田 健 司 (有沢田電興社)
 吉 田 成 貴 (勝崎電気工業株)
 勝 崎 仁 (")
 竹 中 陽 平 (上村電建株)
 観 音 邦 弘 (")
 安 田 晃 (")

○能登本部 (7名)

岩 島 喜 治 (鳥畑電気工事株)
 縄 本 大 成 (藤本電機株)
 嶋 田 洋 子 (有北橋電気工事)
 野 村 義 幸 (")
 小 林 広 志 (稲垣電機株)
 坂 室 幸 志 (坂室電機株)
 棚 口 宏 一 (")

○加南本部 (3名)

下 中 知 尚 (東本電気株)
 縄 手 孝 信 (タボタ電機株)
 西 中 宏 昌 (山口電設株)

□勤続15年表彰 (16名)

○金沢本部 (8名)

古久保 猛 (米沢電気工事株)
 山 科 誠 (")
 小 島 喜 幸 (")
 藤 田 健 資 (")
 田 上 智 美 (")
 川 本 直 史 (有ヤマックス)
 宮 下 孝 志 (ツボ電気工事株)
 島 野 達 成 (シグマ電機株)

○能登本部 (3名)

生 野 博 行 (坂室電機株)
 宮 下 竜 一 (清水電興株)
 伊 藤 千 尋 (株高田電機商会)

○加南本部 (5名)

北 本 葵 (松本電機株)
 若 林 浩 二 (秋田電気工事株)
 辻 純 平 (")
 田 中 陽 (株上伸電機)
 新 家 博 史 (竹内電気工事株)

□勤続10年表彰 (30名)

○金沢本部 (18名)

吉 田 大二郎 (米沢電気工事株)
 岸 人 裕 弥 (")
 工 藤 翔 馬 (")
 加 藤 裕 之 (")
 水 仁 志 (")
 松 井 理 信 (")
 高 道 吉 郎 (")
 山 本 貴 大 (")
 竹 田 悠 介 (")
 小 泉 賢 二 (")
 松 田 大 介 (")
 船 本 昌 志 (第一電機工業株)
 北 川 祐 (")
 大 沢 拓 史 (株柚木商事)
 前 川 浩 一 (株大地電業所)
 武 田 壯 明 (東洋電建株)
 忠 村 利 宏 (株忠村電業社)
 西 川 千 恵 (株アルファ電装)

○能登本部 (2名)

白 馬 大 樹 (昇陽電機株)
 水 野 希 一 (桜井電気工事株)

○加南本部 (10名)

広 田 峻 也 (東本電気株)
 岡 田 忠 彦 (有平専電工)
 村 先 憲 之 (竹内電気工事株)
 青 木 大 地 (")
 千 滝 諒 哉 (")
 面 尚 吾 (山口電設株)
 佐 藤 竜 矢 (")
 山 田 昇 平 (")
 二枚田 泰 宏 (有表電機)
 中 筋 賢 (石川県電気工事工業組合)

	金沢	能登	加南	計
中央会長賞30年	6	1	0	7
理事長賞20年	21	7	3	31
同 15年	8	3	5	16
同 10年	18	2	10	30
計	53	13	18	84

3 本部、全体会議

金沢本部

金沢本部では、5月18日に全体会議を開催して
おりましたが、新型コロナウイルス感染の終息が
見通せない現状で、組合員の皆様に集まって戴い
ての開催は不可能と判断し書面表決書をご提出し
て戴きました。その結果については、以下のとおり
です。

令和2年度 石川県電気工事工業組合金沢本部 全体会議書面議決結果

組合員数	259
書面表決書提出	195
回答率	75%

議案

第1号議案 令和元年度事業報告・活動費収支
決算報告

賛成	195
反対	0

第2号議案 令和2年度事業計画・活動費収支
計算書(案)

賛成	194
反対	0
どちらでもない	1

結果

すべての議案について、過半数の賛成をもって
可決されました。

組合員の皆様には書面議決にご協力いただきま
したこと、心より御礼申し上げます。

今年度も引き続き、組合事業活動へのご理解と
ご協力を賜りますようお願い申し上げ
ます。

◆令和2年度 重点目標

安全基準作業手順の徹底・法令順守し、
ゼロ災害を目指す！

(1) 労働災害の防止

- ・指差呼称による一動作一確認の徹底
- ・災害リスクの低減と不安全行動の排除
- ・目配り・気配り・思いやりのある行動

(2) 経営基盤の安定化

- ・人づくり人材確保と育成に合理的で有効な
方策
- ・高校生との意見交換の継続
- ・新規組合加入者、事業承継への支援

(3) 電気工事の施工品質の向上

- ・内線工事施工品質の向上(接地不良、絶縁
不良工事の撲滅)
- ・工事技術の向上により第三者損害賠償事故
の撲滅
- ・北陸電力分社化に伴う電気使用申請等の対
応及び意見交換。

(4) 配電工事施工体制の強化

- ・企業統治(ガバナンス)強化による外線・引
込線の工事技術の向上
- ・自主検査の徹底により不良工事の撲滅、人
材育成教育の充実と技能継承の強化

(5) 営業分野拡大による需要開拓

- ・「製・販・工需要開発会議」の継続実施
- ・保守センター業務処理の迅速な対応とフォ
ロー

(6) 省エネルギー機器の推奨、地球環境保全の意識高揚

- ・金沢市E S C O事業継続、維持管理の迅速な対応
- ・環境関連の提案型技術営業の推進
- ・ほくリンク会員の加入協力

(7) 地域社会への貢献

- ・電気使用安全月間運動に於ける一般需要家に対する効果的なP R活動
- ・金沢市災害時協力井戸調査の実施

(8) 組合員意識の啓発、P R、広報活動

- ・金沢本部ホームページの充実

(9) 新型コロナウイルス感染予防対策

- ・マスクの着用、消毒液を使った手洗いの徹底
- ・社員の体調管理と作業員の検温
- ・会議等における密閉、密接、密集の回避
- ・職場以外での不要不急の外出の自粛



能登本部

能登本部では、4月10日(金)に和倉温泉「加賀屋」大会議室において開催の予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防のため集会方式での会議を取りやめ、書類審議による議案決議と致しました。

尚決議の結果、賛成多数となり以下の全議案を可決と致しました。

第一号議案

- イ. 令和元年度事業報告について
- ロ. 令和元年度収支決算報告承認の件について

第二号議案

- イ. 令和2年度事業計画(案)について
- ロ. 令和2年度予算(案)承認の件について

能登本部安全衛生ポスター標語 優秀作品表彰(記念品授与)

○令和2年度重点目標の部

珠洲電気工事㈱
ゼロ災へ 互いに声掛け ワンチーム

○スローガンの部

内浦電気工業㈱
慣れた作業 その余裕が 事故のもと

○行動目標の部

桜井電気工事㈱
ひとつずつ 手順を踏んで 無災害

◆基本目標

「ゼロ災害と風通しの良い職場環境の醸成」

◆重点目標

1. 組合運営の充実・職場の活性化

- (1) 人材の育成と高齢化対策の実施
- (2) 組合互助会・第三者損害賠償事故などの撲滅

- (3) 定期健康診断の実施
- (4) 青年部活動の育成と支援

2. 安全意識の高揚・労働災害及び公衆災害の撲滅

- (1) 職場作業環境に的確な自主安全管理活動の実施
- (2) 事業所訪問及び現場パトロールの実施
- (3) 労働災害及び交通事故の対策強化

3. 配電工事技術の向上と不良工事の撲滅

- (1) 配電工事新技術・工法及び新作業手順の的確な対応
- (2) 配電請負工事の施工者評価制度の管理徹底
- (3) 自主検査・後見点検の徹底によるヒューマンエラーの撲滅
- (4) 自主・交差パトロール時での的確な助言と指導事項等の徹底

4. 電気工事新技術の取得・経営意識の高揚

- (1) 各種資格取得等の支援
- (2) 第二種電気工事士・第一種電気工事士の育成
- (3) 石川県電気安全協力会主催、内線工事研究会主催行事への参加
- (4) 電気工事技能競技会への積極的参加

5. 電気設備保守とPRの促進

- (1) 保守管理業務の拡大と点検業務の完全実施
- (2) スイッチング申込お客様への円滑なスマートメーター工事の実施
- (3) 電気使用安全月間における電気設備無料相談所等の設置
- (4) お客様工事不良通知設備の改修強化

6. 広報活動による組合意識の啓蒙

- (1) 「こうほう」の発刊及び組合のPR
- (2) 組合活性化及び電気使用安全月間のPR
- (3) エネルギーを取り巻く環境への理解強化

加南本部

5月14日(木)「のとや」(小松市粟津温泉)での開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため集会方式での会議を取りやめて、書類審議による議案決議を行いました。決議の結果、賛成多数となり以下の全議案を可決いたしました。

第一号議案

- イ. 令和元年度事業報告の件
- ロ. 令和元年度活動費収支計算書報告の件

第二号議案

- 令和2年度役員・組織の一部変更(案)承認の件

第三号議案

- イ. 令和2年度事業計画(案)承認の件
- ロ. 令和2年活動費予算(案)承認の件

令和2年度重点目標

1. 自主安全管理活動による基本作業の順守徹底・安全意識高揚からの「ゼロ災」の達成
2. 配電工事における安全最優先と基本ルール順守の徹底を基本とした施工品質確保と効率化の推進
3. 内線工事における後見点検の完全実施による不良工事の撲滅(特に計器工事と接地工事)
4. 電気工事業界の将来を見据えた認知度向上と就労支援の促進
～組合組織の体制強化に向けた組合加入促進対策の立案と実施～
5. 災害時の迅速な対応と体制の強化
6. 経営力強化の支援と福利厚生制度説明会などの各種講習会の開催と積極的な参加
7. 電気工事士試験準備講習会の実施による資格取得支援
8. 他設備産業との連携強化による業界の地位向上と分離受注拡大
9. 地域行事への積極的参加と地域情報の収集
10. 電力システム改革に向けた北陸電力(株)および北陸電力送配電(株)との情報交換と相互協力による連携強化
11. 各委員会・各種行事の参加率向上による組合活動の活性化

電気使用安全月間行事

◇金沢本部

〈今後の行事予定〉

- 8月4日 金沢市防災井戸調査 21箇所
8月 百万石通り街路灯清掃活動
8月 内線工事現場パトロール実施
(金沢本部安全部)
実施日未定 エレキスクール

◇能登本部

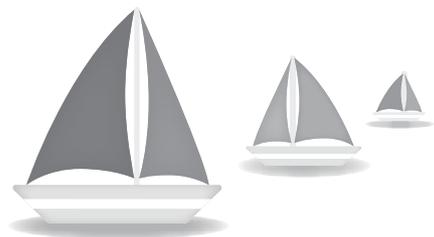
〈今後の行事予定〉

- サービス相談所の開設 (定置)
日時：令和2年8月3日(月)～8月31日(月)
9：00～16：00
場所：当組合 能登本部
- キャラバン隊による巡回PR (企画広報部会)
日時：令和2年8月3日(月)～8月31日(月)
日時未定
場所：能登本部管内 (公民館、保養施設等)
内容：電気使用安全月間のPR
- 工事現場等パトロールによる指導
(内線安全部会)
日時：令和2年8月3日(月)～8月31日(月)
日時未定
場所：当組合能登本部組合員の作業現場等

◇加南本部

〈今後の行事予定〉

- 7月上旬 電気使用安全月間PR大型看板設置 (加南本部会館外壁)
7月中 管内3市1町に電気用安全月間の趣旨説明と上記ポスターの配布
7月下旬 組合員に昨年度電気使用安全月間ポスターコンクール最優秀賞受賞作品ポスター配布
8月上旬 重要文化財の電気設備点検
8月1日 電気使用安全月間PR活動出発式 (電気安全サービス)
8月中 車両による巡回PR、チラシ・リーフレット・ツール等の配布
8月中 「電気使用安全児童ポスターコンクール」管内小学生児童から月間PRポスター募集
8月中 内線作業現場の安全パトロールの実施、安全点検・電気災害防止PR



●●●●● 各本部だより ●●●●●

金 沢 本 部

- 1月7日 電力年賀挨拶（外線・引込線）
青年部役員会
- 1月9日 内線工事研究会幹事会（電力）
- 1月18日 外線・引込線合同部会（湯涌）
- 1月23日 特別安全教育⑥
- 1月29日 全体会議（新年会）
（ANAクラウンプラザ金沢）



本部役員会（ANAクラウンプラザ金沢）

- 1月30日 全国大会委員会（最終）
- 2月3日 油圧圧縮器メーカー点検
- 2月4日 内工研大研修会津幡会場
（津幡町文化会館シグナス）



拡大配電委員会
青年部役員会

- 2月6日 油圧圧縮器メーカー点検
- 2月7日 内工研大研修会白山会場
（白山市民交流センター）

- 2月13日 内工研大研修会金沢会場
（いしかわスポーツセンター2階）
- 2月18日 （県）安全委員会
- 2月19日 （県）配電委員会
- 2月21日 外線班長研修（千里浜）
北青協役員会
- 2月22日 外線班長研修（千里浜）
青年部新年会（玉寿司）
- 2月28日 緊急外線部会
- 3月3日 外引特別安全パトロール
- 3月5日 青年部役員会
- 3月6日 （県）電設委員会
- 3月9日 外線若年者教育（呉羽）13日迄
- 3月17日 本部役員会
- 3月24日 （県）総務委員会
- 3月25日 （県）配電委員会
- 3月27日 （県）安全委員会
- 3月30日 E S C O委員会
- 4月1日 第一種電気工事士定期講習会
（県地場産業振興センター）
労働保険年度更新手続き（4/24迄）
- 4月9日 青年部総会
- 4月21日 本部役員会（縮小）
- 4月22日 監事会
- 5月8日 常務会（組合会館）
- 5月12日 県役員会（組合会館）
- 6月2日 総代会
- 6月10日 電気安全協力会委員会
- 6月11日 外引フルハーネス特別教育①
- 6月17日 外引フルハーネス特別教育②
- 6月24日 外引合同部会
- 6月25日 外引フルハーネス特別教育③
- 6月26日 本部役員会

能登本部

- 1月7日 北陸電力(株) 新年ご挨拶巡回
本部長、役員 他
- 1月14日～2月7日 計測器等の照合試験
- 1月16日 県新年懇親会 (於：金沢石亭)
- 1月18日 技術部会議
- 1月23日 第2回全体会議及び北陸電力(株)様による時局講演会
(於：あえの風) 51名

◇第2回全体会議

- 1) 令和元年度第3四半期事業報告について
- 2) 令和元年度第4四半期決算、事業運営



◇北陸電力(株)様による時局講演会

講師：北陸電力(株)七尾支店長
塚本 明 氏

(題目) 電力取引市場の概要について

講師：北陸電力(株)石川送配電支社
七尾配電・サービス部長
木嶋 公平 氏

(題目) 北陸電力における配電部門
の現状と取り組みについて



- 1月30日 全国大会実行委員会 (於：金沢金城楼)
- 2月4日 拡大配電委員会 (於：県本部)
- 2月5日 高圧ケーブルX線検査 (於：小松市)
- 2月17日 能登本部墜落災害防止対策会議
- 2月18日 安全委員会 (於：県本部)
- 2月18日 七尾内線工事研究会研修会 穴水会場
(於：のとふれあい文化センター) 35名
- 2月19日 配電委員会 (於：県本部)
- 2月20日 七尾内線工事研究会研修会 七尾会場
(於：七尾サンライフプラザ) 53名
- 2月19日～21日 絶縁防保護具耐電圧試験
- 3月3日 下期配電工事特別安全パトロール
- 3月6日 電設委員会 (於：県本部)
- 3月9日～13日 令和元年度連合会外線工事施工者若年者教育
(於：北陸電力(株)研修センター)
- 3月10日 支部長会・役員会議
- 1) 令和2年度全体会議日程及び役割分担について
 - 2) 令和2年度全体会議議案審議について
- 3月18日 安全協会作業改善提案審査委員会
(於：北陸電力(株)七尾支店)
- 3月24日 総務委員会 (於：県本部)
- 3月25日 配電委員会 (於：県本部)
- 3月27日 安全委員会 (於：県本部)
- 4月22日 監事会 (於：県本部)

4月22日～24日 間接活線工具耐電圧試験
4月24日 外線アシストアーム取扱い説明会
(於：北陸電力㈱七尾支店)

5月8日 常務会 (於：県本部)
5月12日 県役員会 (於：県本部)
5月20日～29日 高所作業車 (バケットライナー、
第3ブーム) 耐電圧試験

6月2日 総代会 (於：県本部)
6月19日、22日、23日
外線引込線施工者フルハーネス特別教
育 97名

6月24日～26日 仮設開閉器リードケーブル耐電
圧試験



加南本部

- 1月6日 組合業務仕事始め
- 1月7日 災害対策検討会
- 1月8日 安全協力会新年安全祈願祭
小松支部：本折日吉神社
加賀支部：加賀江沼神社
- 1月8日 加南本部新年安全祈願祭・新年顔合せ・
年始挨拶回り
- 1月16日 第3回配電災害対策委員会 10名
- 1月20日 トルクドライバー校正試験
加賀支部 42本/21社（内不良0本）
- 1月20日 安全サービス内部監査
- 1月22日 加南本部新年全体会議
「ゆのくに天祥」 54名
- 1月23日・2月5日
フルハーネス特別教育 56名
- 1月23日～24日 北陸連合会
安全管理指導員研修 福光
- 1月27日 第1回小松支部世話人会 5名
令和元年度総会打合せ
- 1月28日 小松工業高校意見交換会 23名
電気科2年生78名
- 1月29日 加賀支部役員会
割烹「河口」 4名
- 1月30日 小松労働基準協会 定例理事会
新年役員互礼会
- 2月5日 令和元年度加賀支部総会
「ゆのくに」 15名
令和元年度事業報告・会計報告
- 2月5日 高圧ケーブルレントゲン検査
- 2月7日 令和元年度小松支部総会
「一浪」 35名
令和元年度事業報告・会計報告
- 2月7日 圧縮工具メーカー点検
- 2月12日 小松商工会議所 小規模企業振興委員
連絡会
- 2月12日 営巣巡視保安教育 外線工事施工者
- 2月12日 防護管業務保安教育 外線工事施工者
- 2月17日 第4回配電災害対策委員会
外線施工者6名
運営諸般について
- 3月3日 配電工事特別安全パトロール 5名
- 3月4日 加南本部倉庫増築工事電気工事作業
青年部員5名
- 3月5日～3月19日 内工研クイズ 107名/17社
- 3月9日～13日 外引施工者若年者教育
- 3月25日 検満施工者会議（小口高圧・低圧）
- 3月26日 第4回技術委員会 4名
電気工事技能競技北陸大会について
- 3月9日～13日 活線防保護具耐圧試験
- 3月23日～25日 間接活線工具耐圧試験
- 4月9日 トルクドライバー校正試験
小松支部 69本（内不良2本）
- 4月13日～15日 仮設開閉器・リードケーブル耐
圧試験
- 4月15日～16日 労働保険年度更新事務受付
46社
- 4月17日 第1回執行部会 5名
運営諸般について



4月22日 第1回総務委員会 4名
運営諸般について

4月28日 加賀市に新型コロナウイルス感染症拡大防止支援への寄付
(加賀支部・加賀建設業協会・
加賀管工事協同組合 3社合同)

5月11日～18日
北陸電力(株)小松支店通信鉄塔ブルーライトアップ協賛(医療従事者応援)



5月11日～15日 高所作業車耐圧試験

5月11日～15日 圧縮工具圧力試験

5月12日 小松能美木造建築工事安全対策連絡協議会 監査会

5月18日 石川県電気安全協力会小松地区本部
理事会

5月25日 外線施工者会議 12名/6社

5月25日 小松労働基準協会 三役説明会

6月2日 県総代会

6月5日 低圧検満施工者会議

6月8日 外線施工者集会 57名



6月19日 加賀労働基準協会 第1回理事会

【新型コロナウイルス感染症拡大防止対応により中止・書面審議とした行事】

- | | | | |
|-----------|---|-------|--|
| 2月21日 | 北陸電力託送部門との意見交換会
【中止】 | 6月11日 | 石川県電気安全協力会小松地区本部総
会【中止】 |
| 3月25日 | 電気記念日記念式典【中止】
優良電気工事業者表彰：(有)大豊電設
【賞状交付のみ】 | | 安全表彰【賞状交付のみ】
【個人】田中 哲弥（田中電機）
谷本 真人（株谷本電機）
【団体】
目標5年（1社）：中央電気工業所
目標4年（3社）：(有)北西電気商会
株谷本電機
（有）三嶋電機工業所
目標3年（1社）：タボタ電機(株)
目標2年（1社）：山口電設(株)
目標1年（1社）：(株)北陸エレテック |
| 4月14日 | 第1回配電災害対策委員会【中止】 | | |
| 4月18日 | 加南本部青年部総会【書類審議】 | | |
| 4月21日 | 石川県電気安全協力会小松地区本部
事務局会議【中止】 | | |
| 4月22日 | 小松労働基準協会
理事懇談会・労務福祉委員会【中止】 | | |
| 4月22日～24日 | 外引新入社員教育【中止】 | | |
| 4月27日 | 県配電事業主会議【中止】 | | |
| 4月30日 | 第1回加南本部役員会【中止】 | 6月11日 | 加南内線工事研究会研修会
【8～9月ごろに延期予定】
優良電気工事店表彰
【8～9月ごろに延期予定】
優秀賞：(有)大豊電設
優良賞：(有)滝口電気商会 |
| 4月 | 加賀市防火協会 役員会【書類審議】 | | |
| 5月12日 | 小松労働基準協会 健康診断団体会議
【中止】 | | |
| 5月14日 | 令和2年度加南本部全体会議
【書類審議】
・令和元年度事業報告、決算報告
・令和2年度事業計画、予算承認 | 6月17日 | 建災防加賀分会 総会【中止】
加賀分会長表彰：(有)矢敷電工
【賞状交付のみ】 |
| 5月19日 | 小松能美木造建築工事安全対策連絡協
議会 役員会【書類審議】 | 6月23日 | 小松能美木造建築工事安全対策連絡協
議会 通常総会【中止】 |
| 5月22日 | 小松労働基準協会 三役会【中止】 | 6月 | 小松労働基準協会
安全衛生委員会【中止】 |
| 5月 | 加賀市防火協会定例総会【書類審議】 | 6月 | フルハーネス特別教育【中止】 |
| 5月 | 第二種電気工事士筆記試験講習会
【中止】 | 6月 | 加南内線工事研究会
役員会【書類審議】 |
| 6月2日 | 小松労働基準協会 定例理事会
【中止】 | | |
| 6月2日 | 県優良従業員表彰式【中止】 | | |
| 6月6日 | 第73回北電工組親睦ゴルフコンペ
【中止】 | | |

●●●●● 青年部だより ●●●●●

県青年部総会

今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、事前に総会資料を配布及び半数以上の委任状を集めた上で、5月28日(木)組合会館にて森川部長のみ出席し開催した。

- ・平成31年度（令和元）年度事業報告及び支出報告承認の件
- ・令和2年度事業計画（案）及び支出予算（案）承認の件

以上の議案が審議され、可決承認された。

青年部として今後の活動は当たり前だと思っていたことが当たり前ではなくなった状況を踏まえ、今、何が出来るかを考え模索しながら、前に目を向け、新しい発想で解決策を見出し、未来に繋げる活動をしていく所存である。



新規採用職員を紹介

<能登本部>

町 口 雅 晴



令和2年4月1日より、能登本部で配電課長として勤めさせていただいております。町口 雅晴と申します。

組合員の皆さまから信頼される職員を目指し、日々精進と挑戦で取り組んでいく所存です。

微力ではありますが、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

(採用月日：令和2年4月1)

石川県電気工事工業組合「任意労災制度」

「2020年3月現在の内容です。」

～たいへん多数のご加入で好評をいただいております～

任意労災制度(業務中のケガと病気補償)【業務災害総合保険】の特長

1. 団体契約のため保険料が一般で加入するより**割安**です(50事業者以上加入の場合15%割引適用)。
2. 従業員の方々からの**個別健康告知は不要**です。
3. 貴社の事業内容および売上高から保険料を算出し、保険料は**全額損金処理**できます。
※法人が契約者として、従業員全員(役員を含みます。)のために負担する保険料は全額が損金扱いになります。
(法人税基本通達9-3-5.9-3-6の2を準用 2020年3月現在)

こんな場合に
保険金をお支
払います。



職場に向かう途中のケガ



仕事中のケガ

任意労災制度の特長

1. 地震もしくは噴火またはこれらによる津波によるケガを補償します。(地震・噴火・津波危険補償特約セットの場合)
2. 万一の訴訟・高額賠償に備えて！「**使用者賠償責任補償**」
① 労災高額判決・和解金などに**最大5億円**まで対応できます。
② **弁護士費用等**の訴訟費用も補償します。

※この広告は保険商品の概要をご説明したものです。詳細につきましては、パンフレットをご覧いただくか、取扱代理店または引受保険会社にお問い合わせください。

お問い合わせ先

石川県電気工事工業組合
「任意労災制度」推進担当
AIG損害保険株式会社 金沢支店
金沢市南町4-60 金沢大同生命ビル

<https://www.aig.co.jp/sonpo>

TEL 076-222-0005 FAX 076-222-1287

(受付時間)午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

(営業種目)自動車保険・火災保険

賠償責任保険・その他各種損害保険

引受保険会社

AIG AIG損保 AIG損害保険株式会社

募集文書承認番号:D-004579

全日電工連認定損害保険制度の概要

全日電工連組合員の皆さまに、3つの損害保険制度をご用意しております。全日電工連ならではのスケールメリットを生かした割安な加入費(保険料)で皆さまの経営を支えます。

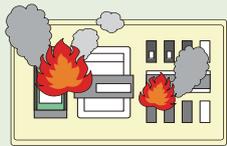
物への補償

人への補償

ご自身の損害

組立保険制度

組合員の皆さまの資材、工事物件を守ります。



夜間火災が発生し、現場事務所および収容の什器・備品を焼損した。



工事現場で電線が盗難にあった。

業務災害補償制度

従業員や役員、個人事業主などの労災リスクを補償します。



作業中に感電して亡くなられた。



従業員が作業中にケガをし、後遺障害第1級が生じた。

第三者の損害

第三者損害賠償制度

第三者(他人)の身体に障害を、または財物に損壊を与えてしまったことにより、法律上の賠償責任を負った場合に補償します。



5年前の太陽光発電システム設置工事の際、ボルトの締めが緩かったためすき間ができ、雨漏りが発生した。



空調設備工事中、誤って壁をキズつけた。



工事中、誤って工具を落とし、通行人にケガをさせた。

組合事務局日誌

- | | | | |
|------|--|------|---|
| 1月6日 | 仕事始め | 3月3日 | 配電工事特別安全パトロール |
| 7日 | 年始挨拶回り（北陸電気工事組合連合会） | 6日 | 電設委員会 |
| 9日 | 三役会議、年始挨拶回り（全日電工連） | 7日 | 組合高圧ケーブル更新工事 |
| 10日 | 組合運営研究会
（石川県中小企業団体事務局協議会） | 9日 | 若年者教育～13日迄
（北陸電気工事組合連合会） |
| 16日 | 新年懇親会 | 24日 | 総務委員会 |
| 20日 | 調査業務内部監査 | 25日 | 配電委員会 |
| 22日 | 総会・新年会（北國友翔会）
全体会議Ⅱ（加南本部） | 27日 | 安全委員会 |
| 23日 | 安全管理指導員研修会～24日迄
（北陸電気工事組合連合会）
全体会議Ⅱ（能登本部） | 30日 | E S C O委員会 |
| 28日 | 新年懇親会（石川県電気業会）
改善提案審査会（北陸電力㈱） | 4月1日 | 第一種電気工事士定期講習 |
| 29日 | 全体会議Ⅱ（金沢本部） | 20日 | 企画委員会（石川県中小企業団体中央会） |
| 30日 | 全国大会実行委員会
（北陸電気工事組合連合会） | 22日 | 監事会 |
| 2月3日 | 関西ブロック間取り
（北陸電気工事組合連合会） | 5月8日 | 常務会 |
| 4日 | 拡大配電委員会
総合政策会議：財政強化WG
（全日電工連） | 12日 | 役員会 |
| 5日 | 三役会議（全日電工連） | 13日 | 役員会（石川県中小企業団体中央会） |
| 11日 | 合同会議前日懇談会（全日電工連） | 21日 | 理事会（石川県電気業会） |
| 12日 | 理事会・合同会議（全日電工連） | 22日 | 通常総代会（金沢法人会） |
| 18日 | 安全委員会 | 29日 | 理事会（全日電工連） |
| 19日 | 配電委員会 | 6月2日 | 第79期通常総代会
広報委員会（書類） |
| 21日 | 外線班長研修 | 4日 | 正副会長会議（石川県建設産業連合会） |
| 27日 | 電設委員会（北陸電気工事組合連合会）
理事会・代議員会
（ほくりく地域産業企業年金基金） | 8日 | 厚生委員会（書類）
通常総会（石川県中小企業団体中央会） |
| | | 10日 | 常務会（北陸電気工事組合連合会）
書面総会（北陸電気工事組合連合会）
書面総会（北陸地区電気エネルギーを考
える会） |
| | | 17日 | 三役会議（全日電工連） |
| | | 18日 | 通常総会（全日電工連） |
| | | 30日 | 理事会・代議員会
（ほくりく地域産業企業年金基金） |

こうほう 第149号

発行 2020年7月10日

発行所 石川県電気工事工業組合
金沢市新保本4-65-22
TEL (076) 269-7880(代)
FAX (076) 269-7881



ひがし茶屋街



北陸を明るくしたい気持ちは
どこにも負けないと思う。

安全に電気をつくり、安定した電気をお届けする。

もっと便利なサービスで、暮らしや地域に笑顔もお届けする。

今も、この先もずっと、北陸のために。

 北陸電力